

特殊浴槽の設備変更に伴うアンケート結果報告

令和6年9月30日

一宮の里デイサービスセンター

部長：石丸仁

【利用者様への口頭での聞き取り調査】

・特殊浴槽を利用される利用者様10名中、口頭での聞き取り調査が可能であった5名の利用者様の意見の要約

- ① 以前のお風呂と比べると、椅子(搬送車)の座り心地が非常に良くなっている。
- ② 湯の交換時間が短くなっており、準備の待ち時間が短くなって良い。
- ③ 以前は職員2名で車椅子から椅子(搬送車)への移乗介助をやってもらい、申し訳なかったが、現在は、移乗し易くなり職員1名介助で出来るようになったので、職員に迷惑がかからなくなって嬉しい。
- ④ 浴槽スペースが広くなり、また、バブルも出るので気持ちよく入浴できる。

※特殊浴槽の設備変更に伴うデメリットの意見は全く聞かれなかった。

【実際に介助する介護職員等への口頭での聞き取り調査】

・職員10名の意見の要約

- ① レッグレストが収納式になっており、移乗介助の際に邪魔にならず、移乗介助が役になった。また、以前は2名介助で対応していたが、現在は1名介助で対応可能となった方が2名いる。
- ② 以前と比べて、移乗介助がやり易く、腰痛予防に効果的である事を感じている。
- ③ 以前と比べると、掃除のし易さ、衛生面の管理がし易くなっている。
- ④ 座面のティルト機能により、利用者様の座位での前方への滑り落ちの危険性が低くなっている。
- ⑤ 湯の交換に必要な時間が短縮されており、効率的に業務が出来るようになった。
- ⑥ 今回の勉強会等を通してJKAという団体の補助事業を始めて知った。以前は、競輪やオートレースにあまり良い印象を持っていなかったが、こういった助成活動を積極的に実施している事や、選定過程の具体的な目的目標の提出やその透明性等を聞くと非常に良い印象が変わった。

※特殊浴槽の設備変更に伴うデメリットの意見は全く聞かれなかった。